

## 議題(2)

# 令和4年度研修開始の 診療科別シーリングについて

日本専門医機構のシーリング数については、  
参考資料5も併せてご覧ください。

## 概要

令和3年2月19日に開催された日本専門医機構理事会において下記のとおり決定がされた。

- 令和3年度採用数は新型コロナウイルスの影響により採用数に変動が生じたため、令和4年度のシーリングは、令和3年度の採用数を用いた再計算を行わず、令和3年度と同じ数値とする。  
→**奈良県では、シーリング対象の診療科はなし。**
- その他の運用(連携プログラムに関する規定や、シーリング対象外とする者の考え方)についても令和3年度と同様とする。

## 令和3年度(昨年度募集)シーリングの概要

- (1)令和2年4月医道審議会専門研修部会で示されたシーリング案では、奈良県の耳鼻咽喉科にシーリング数7名、放射線科にシーリング数6名が設けられていた。
- (2)各都道府県の地域医療対策協議会を開催し、医師法16条の10に基づき厚生労働省へ意見の申出。
- (3)厚生労働省は、各都道府県からの意見を取りまとめ、医師法16条の10に基づき日本専門医機構へ意見の申出。
- (4)日本専門医機構は厚生労働省からの意見を踏まえ、下記のとおり対応。  
「採用数の平均が少数であるにも関わらず、単年度のみ採用数が多いことによりシーリングの対象となった都道府県への配慮のため、過去3年間の採用数の平均が少数(5以下)の都道府県別診療科をシーリングの対象外とする。」
  - ・奈良県内の耳鼻咽喉科の過去3年間の平均採用数:4名→シーリング対象外に
  - ・奈良県内の放射線科の過去3年間の平均採用数:5名→シーリング対象外に**結果、奈良県では、シーリング対象の診療科はなかった。**

※ 次ページからは、参考までに令和3年度(昨年度募集)シーリング数の計算方法について記載。

# <参考> 令和3年度(昨年度募集)のシーリング数の計算方法(1)

議題(2)

令和2年度  
第1回地域医療対策協議会 資料5  
令和2年8月21日 一部改変

## シーリング対象の考え方

現状医師数(A)  $\geq$  2018年必要医師数(B) **かつ** 2024年必要医師数(C)

上記を満たすとシーリング対象となる。

例	(例) 麻酔科	2018年		2024年	
		現状医師数(A)	必要医師数(B)	必要医師数(C)	
	千葉県	338	503	508	
	東京都	1,408	$\geq$ 1,129	及び 1138	← シーリング対象
	神奈川県	668	$\leq$ 712	又は 722	← シーリング対象外
	新潟県	115	201	193	

## シーリング数の算出方法

過去3年の平均採用数 - ( 過去3年の平均採用数 - 2024年の必要医師数を達成するための年間養成数 )  $\times 0.2$

例

東京都	2016年医師充足率 (医師数/必要医師数)	シーリング数	連携プログラム による募集可能 人数	連携プログラム (都道府県限定分) による募集可能 人数	2024年の必要医師 数を達成するための 年間養成数	過去3年専攻医 採用数平均	2020年度 専攻医採用数	2019年度 専攻医採用数	2018年度 専攻医採用数
放射線科	1.27	36	7	5	-7	47	44	46	50

$$47 - (47 - (-7)) \times 0.2 = 36.2$$

# <参考> 令和3年度(昨年度募集)のシーリング数の計算方法(2)

議題(2)

令和2年度  
第1回地域医療対策協議会 資料5  
令和2年8月24日 一部改変

## シーリングの上限

- 過去3年間の平均採用数と令和2年度の採用数の大きい方をシーリング数の上限とする。

## 採用数が少数の都道府県の例外

- 過去3年間の採用数のいずれかが10人未満である診療科のシーリング数を過去3年間の採用数のうち最大のものにする。

奈良県	2016年医師充足率 (医師数/必要医師数)	シーリング数	連携プログラム による募集可能 人数	連携プログラム (都道府県限定分) による募集可能 人数	2024年の必要医師 数を達成するため の年間養成数	過去3年専攻医 採用数平均	2020年度 専攻医採用数	2019年度 専攻医採用数	2018年度 専攻医採用数
耳鼻咽喉科	1.13	7	0	0	0	4	0	5	7
放射線科	1.45	6	0	0	-3	5	6	3	5

過去3年間の採用数がいずれも10未満  
⇒ シーリング数は過去3年間の採用数のうち最大値となる。

昨年度の医師  
法第16条の  
10に基づく  
意見申出によ  
る追加項目

- シーリング数が5(連携プログラム0)以下の診療科をシーリングの対象外とする。
- 過去3年間の採用数の平均が少数(5以下)の都道府県別診療科をシーリングの対象外とする。

## シーリングの下限

- シーリング数の合計(通常+連携プログラム)の下限を昨年度のシーリング数の95%とする。  
95%に満たない数は、連携プログラム(都道府県限定分)として追加する。

## <参考> 連携(地域研修)プログラムについて ※シーリング対象診療科に適用

議題(2)

※ 令和4年度研修開始の専門プログラムにおいても、連携プログラムの募集を行う診療科はない。

令和2年度  
第1回地域医療対策協議会 資料5  
令和2年8月21日 一部改変

### 連携プログラムとは

- シーリングによる急激な変化による影響を考慮し、シーリング対象の診療科は専攻医不足の都道府県と「連携(地域研修)プログラム」を実施可能
- 連携プログラムを除く2021年度募集プログラムの地域貢献率(研修期間のうち、シーリング対象外の都道府県で研修する期間及び都道府県内の医師少数区域で研修する期間の割合)が20%以上かつ、シーリング対象外の都道府県施設において1年6か月以上の専門研修を行える環境が整った場合、募集可能。

### 【連携プログラム数による募集可能人数の算出方法】

連携プログラムによる募集可能人数

$$= \left( \text{過去3年間の平均採用数} - \text{2024年の必要医師数を達成するための年間養成数} \right) \times \text{一定割合}$$

- ・「診療科ごとの専攻医充足率 $\geq 100\%$ 」の診療科(内科・整形外科・脳神経外科): **20%**
- ・「 $100\% <$  診療科ごとの専攻医充足率  $\leq 150\%$ 」の診療科(眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科): **15%**
- ・「 $150\% \leq$  診療科ごとの専攻医充足率」の診療科(小児科・皮膚科・精神科・放射線科・麻酔科・形成外科): **10%**

# 令和4年度研修開始の専攻医募集定員に対するシーリング状況

議題(2)

単位:人

奈良県	R2研修開始		R3研修開始		R4研修開始			
	定員	採用	定員	採用	希望定員	シーリング数(A)	連携PG数(B)	計A+B
内科	63	43	63	27	66			
小児科	13	9	13	9	13			
精神科	26	7	29	9	29			
外科	22	4	22	5	22			
整形外科	15	9	18	10	21			
産婦人科	12	1	12	3	12			
麻酔科	14	5	14	4	18			
救急科	9	3	9	5	10			
皮膚科	9	3	9	3	9			
眼科	5	5	4	4	4			
耳鼻咽喉科	7	0	7	1	7			
泌尿器科	6	4	5	2	5			

奈良県	R2研修開始		R3研修開始		R4研修開始			
	定員	採用	定員	採用	希望定員	シーリング数(A)	連携PG数(B)	計A+B
脳神経外科	10	3	10	5	10			
放射線科	6	6	9	4	12			
病理	3	1	3	1	3			
臨床検査	1	0	2	0	3			
形成外科	4	1	4	4	4			
リハビリ科	2	0	2	0	4			
総合診療科	20	10	20	7	22			
シーリングあり	0	0	0	0	0	0	0	0
シーリングなし	247	114	255	103	274	—	—	—
合計	247	114	255	103	274	0	0	0

連携PG数 : 連携プログラムによる受入可能定員 人数

## 【本県の令和4年度専門研修におけるシーリング対象診療領域】

令和3年度に引き続きシーリング対象診療科はなし。